

## 令和4年度子ども・子育て支援推進調査研究事業

### <調査研究報告書タイトル>

保護者支援プログラムのガイドライン策定及び好事例収集のための調査研究

### <実施主体名>

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

### <調査研究報告書の概要>

#### 1. 調査研究の目的

児童虐待相談対応において親子関係の修復や再構築等は重要な支援であるが、保護者支援プログラム等の支援メニューが増えているものの、プログラム以外で行うべき親子関係の再構築支援の体制やノウハウが確保されていない等の課題により、適切な支援につながっていないケースも多いと推察される。

そこで、本調査研究では、都道府県等が実施する親子再統合支援事業等を活用した、各家庭の状況に応じた適切な親子関係の再構築支援を行うための体制整備を図ることを目的とし、親子関係の再構築支援の取組状況や課題等を明らかにしたうえで、事業実施に向けたガイドライン案の作成を行う。

#### 2. 調査研究の実施概要

##### (1) 検討委員会の開催

有識者からなる検討委員会を4回開催し、調査等や親子関係再構築のための支援体制強化に関するガイドライン（案）（以下「ガイドライン（案）」）の検討を行った。

##### (2) グループディスカッションの開催

親子関係再構築支援に係る担当者からの意見等を得るため、児童相談所設置自治体主管課、児童相談所、市区町村の職員対象のグループディスカッションを実施した。

##### (3) 対話会の開催

グループディスカッション参加者から参加希望者を募り、情報共有や検討委員会委員が行っている取組を紹介する場として対話会を実施した。

##### (4) インタビュー調査

グループディスカッションで出された親子関係再構築に関する取組みのうち、他の児童相談所・自治体に参考になり得ると考えられる事例について取組事例集を作成することを目的として、インタビュー調査を実施した。

##### (5) 保護者（親）へのアンケート調査

当事者である保護者の意見等をガイドライン（案）に反映させるため、児童相談所で親子関係再構築に向けた支援を行っている保護者にアンケート調査を実施した。

##### (6) ガイドライン（案）及び取組事例集の作成、研修会の実施

上記を踏まえガイドライン（案）と取組事例集を作成した。ガイドライン（案）としての記載がなじまない検討事項については、本調査研究の考察として考え方を示した。また、ガイドライン（案）に関する自治体・児童相談所への研修会を実施した。

#### 3. 調査研究の結果

上記の結果を報告書としてとりまとめ、今後の参考としてもらえるよう弊社ホームページで公表を行った。なお、本調査研究で検討したガイドラインは「案」であり、今後こども家庭庁において、精査を行うものである。